

# 学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

## 「昔」

荒川 志津代 (文学部長 子ども学)

「むかしむかし……」で始まるお話、はるか以前のことなのだろうと想像します。お話の起源はそれぞれですが、多くの場合、少なくとも大正時代や明治時代よりは前のことです。一方、日常会話での「昔」は、昭和時代や10数年前のことであつたりもします。学生達はしばしば「昔と比べて今の子どもは……」と言いますが、この場合の「昔」は、尋ねてみると自分たちが子どもだった頃であることが多いのです。確かに十年一昔と言いますが、平成時代の初め頃を「昔」と言われると、年輩者の私には少し違和感があります。

「昔」についての感覚は、年齢によっても変わるのかもしれませんが。しかしそれだけではないようです。若い頃私は1920年代(大正時代)を中心として、大衆化された雑誌や新聞を研究の対象にしたことがあります。当時まだデータベース化されていなかった『婦人世界』や『主婦の友』を、それぞれの出版社の図書室などに通い、毎日朝から晩まで丹念に読んでいました。すると、教育史としての知識の一部でしかなかった歴史的事項が、生活の中での身近なエピソードで彩られるようになり、遠い昔のこととは感じなくなったのです。歴史好きな人たちには自明のことかもしれませんが、私にとっては初体験でした。

「昔」とは辞典によると、必ずしも時間の長さには

関係しません。もとは「心が自然にそこに向かう過去」であるようですが、実際には、「現在とは状況がまるで違う過去」を指すことが多いと思われまふ(参照・引用:岩波・国語辞典、広辞苑)。近代における生活のエピソードをあれこれ読んできた私にとって、大正時代や昭和初期は、現在との共通点や今日への接続点が多く見えて、「昔」という表現にはそぐわなくなったのです。例えば1920年代にあった教育熱。子どもの学業やさまざまな行動を、母達が心配していました。そして私が育った昭和後期も、教育ママが取り沙汰されました。その背景や様相はそれぞれの時期によって異なりますから、「いつの時代も同じように」と乱暴に言ってしまうのは問題です。しかし「今」だけに起きているわけではありません。

現在、子どもの問題について、課題が山積みと言われます。親・家庭、地域の教育力も問われています。一方、戦前の子どもの事件を見ても、衝動に駆られる子ども、荒れる子ども等がやはり問題でした。現代には、過去とは異なる側面や質があります。「昔」を身近なものとし、比較の中でその内容が明らかにされてこそ、今の姿をよりはっきりと捉えることが出来ます。大小さまざまな図書室や図書館で過ごした時間が、私にそういった気づきをもたらしてくれたのです。

### ◎ 目 次 ◎

巻頭言「昔」	1
〈資料紹介〉雑誌「L'architecture D'aujourd'hui」	2
パソコン相談室・コンピュータ演習室の案内	3
図書館システムの新機能紹介	4・5
図書館データベース入門	6
学科関連専門分野への入門書	7
図書館利用セミナーのご案内	8
新規購読雑誌について	8
お知らせ	8

◆ 〈資料紹介〉 雑誌 「L'architecture D'aujourd'hui」 ◆

北川 剛 一 (空間造形)

昭和40年の岐阜国民体育大会のすぐ後、昭和42年に岐阜県公会堂が壊され巨大な円錐形を斜め15度ほどを切り取った厚い壁と四角い枠状の壁に囲まれた建物に建て変えられていました(現:岐阜市民会館)。今までに見たこともない異様な建造物の全体像を見た日の出来事は今でも忘れることなく脳裏に焼きついています。壁厚が普通の建物の5~6倍もあり、四角と円錐の構成は度肝を抜く程、力強く、その斬新なデザインに目が釘付けになっていました。次の日、美術の先生に聞いたところ「坂倉準三だよ。他にも沢山あるから見て来るといい」と言われ見に行きました。六本木の国際文化センター、国立西洋美術館、神奈川県立近代美術館(日本初の近代美術館)、見るもの全てが彫刻に見えました。形態、質感、量感共にそのフォルムは美しく森の中に立ち周囲の景観と良くマッチしていました。此れが建築であり、他のほとんどは構築であると実感したのもこの頃でした。



Beg-Meilのヴァカンス村 「L'architecture D'aujourd'hui」 160号より

20世紀を代表する建築家の四本柱として、フランク・ロイド・ライト (Frank Lloyd Wright)、アルヴァ・アアルト (Alvar Aalto)、ル・コルビジエ (Le Corbusier)、ミース・ファン・デル・ローエ (Ludwig Mies van der Rohe) が挙げられるでしょうが、その弟子達が世界に散り、20世紀建築の礎を築いたと言っても過言ではないでしょう。丁度この時期私は「AA」(L'architecture D'aujourd'hui)の年間購読のため小遣いを叩き出して、日本橋の丸善本店にて注文書類にサインをした覚えがあります。

大芸術・建築は追隨する彫刻・絵画・工芸・デザイン等他の芸術をも取り込んで行く原動力となりました。20世紀の芸術界では1910年代に前半分、1960年代に後半から現在までと、その精神が世界に向け発信されています。その後それぞれ50年間における作家達にとって芸術論のエッセンスとなっています。それを思えば、1960年代を中心に全世界の建築界を紹介している隔月刊誌「AA」の役割は偉大な影響を及ぼしたものと考えられます。

神奈川県立近代美術館を見た、師ル・コルビジエは弟子の坂倉準三の作品に触発され東京上野の国立西洋美術館本館を設計することになります。日本に存在する彼唯一のこの作品は今も現役として人々に暖かく親しまれています。

この田舎育ち(岐阜県羽島出身)坂倉の源はなんだろうか? 私は東京・名古屋・京都・大阪を探し歩いていて、ル・コルビジエの著書が10種類以上存在することを知り、その世界観の中、深遠なる洞察力に惚れ込んでいきました。何冊か彼の本を読み、1957年初版の「ル・モジュールI」「ル・モジュールII」の二冊を手にした時には感極まり、時が止まった様に全身が膠着した感覚を今も覚えています。彼の才能は建築・彫刻・絵画・工芸・家具デザイン・詩集・数学等幅広いジャンルに及んでいます。世界中の人々が知る国際連盟本部、ニューヨークにある国際連合本部も彼の作品であります。又、彼の弟子達が戦後日本建築に大きな影響を与え続けたのも周知の事実です。

「AA」はヨーロッパに限らずアジア、北米、中南米、アフリカ問わず、地球規模で建築家のみならず、世界の芸術家達をはじめ、市長、知事・国家元首をも虜にさせる魅力があった様に思えます。例えばブラジル(ブラジルの首都の都市計画)の設計は、コルビジエの弟子ニーマイヤー (Oscar Niemeyer) の作です。

大学に進み3年生を迎えた頃、帰国された先生が「君は海外に出て作家と共に制作し、生活したいと言っていたね?」と尋ねられたので「はい。もう4年前から両親には話しています」と答えました。すると師は「私が紹介できるのは、ゲーリッツ (Mathias Goeritz)、ハーバート・バイヤー (Herbert Bayer)、モハメド・メルヒ (Mohamed Merhi)、ハーバート・バウマン (Herbert Baumann)、バラガン (Luis Barragan Morfin)、P・セーカリー (Pierre Székely) くらいだが、誰を君は望むかね?」と聞かれ「最も厳しい環境の中で生活をし、単純で最も力強い作品を造っているP・セーカリー氏です」と答え、3年半待ち、2年ほどParis近郊 Marcoussisにある彼のアトリエにて共に仕事をし、ヨーロッパ中を駆け巡り制作し続ける2人の日々が続きました。アトリエはマリア・テレジアの別荘跡でもあり、土曜日には誰かが訪ねて来ました。彼はル・コルビジエとの合作としてParis 19区のアパートマン、インド・チャンディガルの図書館、オロビル学園都市が挙げられます。私もP・セーカリーを手伝った建築にBeg-Meilのヴァカンス村(全ての公共的な施設が併設されている)があり、これは1000人収容できます。バレンシエンヌのカルメル派修道院の教会等、彫刻は大小様々でしたが数は覚えていません。只、言える事は、デザイン発想手法、設計手法、制作手法、プレゼンの手法が日本の常識とは全く違っていました。例えば、Beg-Meilのヴァカンス村の構想は、地理、哲学的プロセス、地形と近くの都市との関わりは日本と変わりありませんが、違う所を一つあげるとすれば、仕事を始める前にデザインをより美しく環境に融合させる為、セサナ機を借りてBeg-Meil上空を半径10kmに渡って何日も巡回し続けるという事に驚きました。近くの都市から海と森と空と砂丘のバランスを観察し続け、何処から見ても納得出来るまで構想が練られ、作家としての作業が始まります。

辛いことも多々ありましたが、楽しく映画のような日々が過ごせたのも事実です。この様な未知なる体験をするきっかけを「AA」は私に与えてくれた様に、世界と貴方を繋ぐ「アイデアの窓景色」が一杯の書物です。皆さんも是非一度「AA」のページを捲ってみて下さい。きっと何か素晴らしい世界が開けて来るものと信じます。

(雑誌「L'architecture D'aujourd'hui」は汐路図書館にて1955~1978年分を所蔵しています)

## パソコン相談室・コンピュータ演習室の案内

汐路・天白学舎のパソコン相談室、およびコンピュータ演習室の利用についてご案内します。また、夜間および土曜などの時間外の利用状況について報告します。

### 〈パソコン相談室〉

#### 1. 利用時間

時 間	窓口 (汐路学舎)	窓口 (天白学舎)
平日 8:50～17:20	中央館3階303室	2号館4階422室
平日 17:20～21:00	中央館3階303室	2号館4階425室
土曜 9:00～17:00	中央館3階303室	2号館4階425室

#### 2. サービス内容

- ・パソコンに関する質問や使い方の対応
- ・演習室・自習室の機器の使い方やトラブル対応
- ・学生用の個人認証用パスワードの再発行の対応
- ・学生用の印刷ポイントの追加・引き上げ対応
- ・デジタルカメラの貸出し対応
- ・その他パソコンに関する質問等対応



図1 パソコン相談室看板

#### 3. 部屋別コンピュータ概要

部屋名	総台数	機 種	ディスプレイ (インチ)
南 2-101	20	DELL OPTIPLEX 745	17
南 2-102	12	DELL OPTIPLEX 745	17
	12	DELL OPTIPLEX 760	19
南 2-103	37	DELL OPTIPLEX 760	19
南 2-201	57	DELL OPTIPLEX 745	17
南 2-202	61	DELL OPTIPLEX 745	17
南 2-301	61	DELL OPTIPLEX 745	17
中 402	59	DELL OPTIPLEX 760	19
天 2-409	55	DELL OPTIPLEX 745	17
天 2-425	65	DELL OPTIPLEX 760	19
天 2-427	6	DELL OPTIPLEX 745	17
	6	DELL OPTIPLEX 760	19

### 〈演習室機器の紹介〉

平成21年4月に演習室の更新において導入されたA3対応スキャナです。

昨年度まではA4サイズ対応までのスキャナのみでしたが、A3サイズまで対応可能となりました。



図2 汐路学舎中央館402室のスキャナと取り込みソフト画面

機器の場所は汐路学舎南2号館103室、中央館402室の2部屋に設置されており、各教室の教師机PCのみでの利用となります。

詳細は学術情報センターパソコン相談室までご連絡ください。

### 〈時間外コンピュータ自習室・演習室利用状況〉

平成21年4月から7月までの時間外にコンピュータ自習室・演習室を利用している学生の延べ人数の集計結果です。

汐路・天白とも平日18:00、19:00、20:00、21:00の計4回部屋を巡回し利用状況を確認しています。土曜・日曜・祝日は11:00、13:00、15:00、17:00で平日と同じ計4回部屋を巡回し利用状況を確認しています。

(※日曜・祝日の開放は学生利用の繁忙期のみです。)

- ・汐路学舎巡回：7教室（南2-101,102,103,201,202,301,中402）
- ・天白学舎巡回：3教室（2-425,427,409）

表1 汐路学舎での延べ利用者数

時間外コンピュータ自習室・演習室利用状況 (汐路学舎)

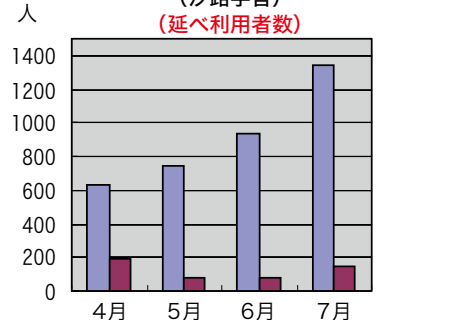
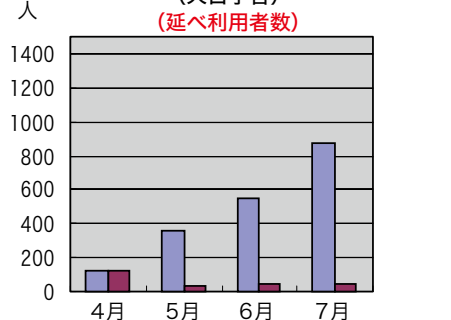


表2 天白学舎での延べ利用者数

時間外コンピュータ自習室・演習室利用状況 (天白学舎)



汐路・天白学舎ともテスト期間が集中する7月に向けて利用者が増加しており、増加時の利用者サービスの向上に努めたいと思います。

## 図書館システムの新機能紹介

8月に図書館システムを更新し、新しい機能が追加されましたので紹介します。

### ◎本の表紙イメージが表示されます

蔵書検索 (OPAC) の検索結果詳細画面では、Amazon.co.jp の表紙イメージを表示することができるようになりました (図 1)。本を探すときの参考にしてください。また、画像や「Amazon.co.jp で詳細を見る」をクリックすると、Amazon.co.jp へリンクされています。



(図 1)

### ◎マイライブラリの機能が充実しました

1. 返却期限の近い資料がお知らせ欄に表示されます  
返却期限の3日前になると、対象の資料がお知らせ欄に表示されるようになりました (図 2)。返却日の近い資料がわかりやすくなります。

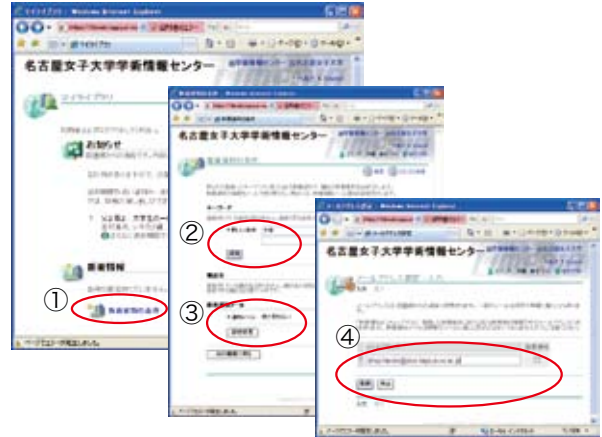


(図 2)

2. 新着資料のお知らせをメールで受け取れます  
登録している条件に一致する資料が図書館で利用可能になると、メールでお知らせします。通知するメールアドレスは各自で設定することができます。

### 〈設定手順〉(図 3)

- ①マイライブラリの「新着資料の条件」をクリックします
- ②受け取りたい条件を登録します
- ③「新着通知メール」の設定変更をクリックします
- ④メールアドレスを入力して登録します



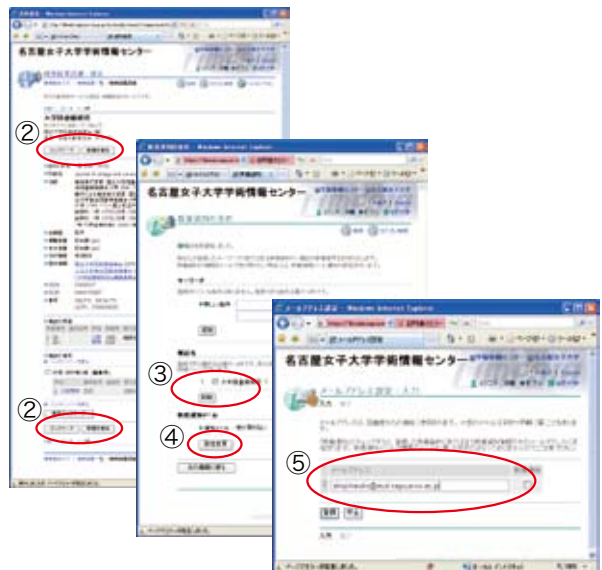
(図 3)

### 3. 雑誌の新着をお知らせします

指定した雑誌の新しい巻号が利用可能になったときに、メールでお知らせします。雑誌は最大 10 件まで登録できます。

### 〈設定手順〉(図 4)

- ①蔵書検索 (OPAC) で雑誌を検索します
- ②「新着を通知」ボタンをクリックします
- ③該当の雑誌にチェックを入れます
- ④「新着通知メール」の設定変更をクリックします
- ⑤メールアドレスを入力して登録します



(図 4)

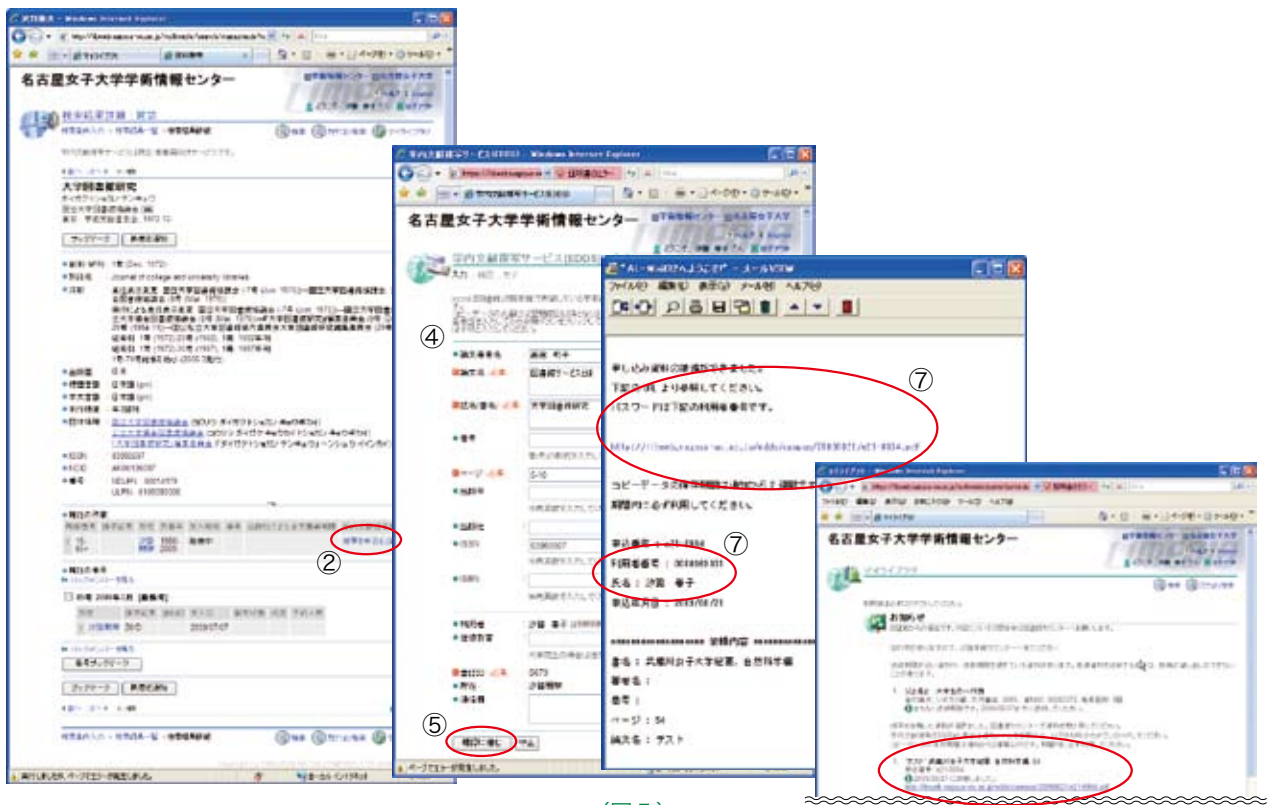
◎所蔵雑誌の論文のコピーを PDF データで入手できます

～学内文献複写サービス (EDDS サービス：大学院生・教員対象)～

汐路本館に所蔵している雑誌に掲載されている論文の複写を、蔵書検索 (OPAC) 画面から申し込むことができます。資料の受け取りはインターネットを利用して PDF データで受け取ることができるため、自宅からでも必要な論文を入手することが可能です。

〈申込手順〉 (図 5)

- ①蔵書検索 (OPAC) で雑誌を検索します
- ②「複写を申込む」ボタンをクリックします (汐路所蔵の雑誌にしか表示されません)
- ③マイライブラリにログインします
- ④必要事項を入力します
- ⑤確認にすすみ、「この内容で依頼」ボタンをクリックします
- ⑥「複写依頼の受理」メールが送信されます
- ⑦申込みの資料が利用可能になったときに「申し込み資料の準備ができました」メールが到着します。メールで利用者番号を確認してから、記載されている URL より資料を利用してください



(図 5)

マイライブラリのお知らせ欄にもアクセス先の URL は表示されます

注意) 資料を利用できるのは、メール到着後 2 週間以内です。期限後は資料にアクセスできなくなりますので、注意してください。

## 図書館データベース入門

「データベースって何?」「何だか難しそう……」 そんなふうに思っていないですか? データベースの良いところ、こう覚えてみてください。

★膨大な情報が目的に応じて整理されているため、欲しい情報が迅速に手に入る★  
たとえば新聞記事を集めたものであれば過去の出来事を検索して読むことができるなど、データベースとは速く、簡単に情報にたどり着くための便利な道具なのです。知らなければもったいない、使えばどんどん成長する!

図書館データベース入門、今回は“知的に楽しい”二つのサイトをご紹介します。



### JapanKnowledge ジャパンナレッジ

JapanKnowledge Classic

オンライン百科事典でありながら、それ以上の知識と情報を備えた「ジャパンナレッジ」。語句や事項の意味を多数の辞書・事典から探してくれるだけでなく、関連サイトや参考文献も紹介されるという、WEBならではの特徴を活かしたサイトです。試験やレポートでの活用に始まって、「会社四季報」「現代用語の基礎知識」などは就職活動にも役立つと、先輩方からの評判も上々です! 大学生活を通じて、ずっとそばにおいて欲しいデータベースです。

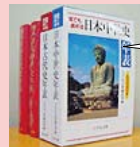
**CHECK!** ~知的に楽しい! こんなコンテンツもあります~



めざせ、漢字通!

〈字通〉

漢字の成り立ち、意味などを体系的に知ることができる漢字辞典です。



私って、“歴女”かも……?

〈誰でも読める日本史年表〉

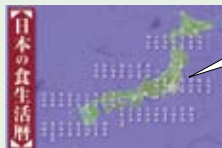
年号や人名、事項から検索して年表を見ることができます。

### ルールル電子図書館

食と農の総合情報センター  
ルールル電子図書館

今注目を集める、食と農にまつわる情報データベースが「ルールル電子図書館」です。食育や郷土食、スローフードなど、自然と調和した暮らしづくりへのヒントが満載! 読んで楽しい実用的な面もありながら、食の業界や農業で活躍するプロフェッショナルたちの取り組みについても、日々更新される記事を通じてより深く知ることができます。このデータベースで見つけたテーマから、あなたの未来が拓けるかも!

**CHECK!** ~知的に楽しい! こんなコンテンツもあります~



郷土愛、食べてますか?

〈47都道府県・食生活暦〉

全国の四季の食生活を紹介しています。



いのちの知恵袋!

〈暮らしの工夫・アイデア集〉

食や農業についてのアイデア記事を読むことができます。



データベースの利用はこちらから  
<http://lsic.nagoya-wu.ac.jp/dbkensaku.shtml>

### ATTENTION!

今回紹介したデータベースは学内のみでの利用となります。図書館のパソコンやコンピュータ演習室でご利用ください。

ノート PC も貸出し中!



## 学科関連専門分野への入門書

### 家政学部

図書館で所蔵している各学科・専攻の専門分野への入り口となるような本を紹介しています。他の学科の本を読んでみると世界が広がるかもしれません。

#### 〈食物栄養学科〉

「栄養成分の事典」 則岡孝子監修 新星出版社  
(汐路本館 請求記号 498.55/1507)

栄養に関するデータ・知識をコンパクトにまとめた1冊。ビタミン・ミネラルなど基本の栄養素のほか、機能性成分についても機能や特徴・含有食品が説明されており、栄養素を効果的にとる簡単なレシピも紹介されています。健康や病気予防など効能別に栄養成分の紹介があり、病気の症状から原因・対策の説明もあります。

#### 〈生活福祉学科〉

「平行線」 森口奈緒美著 ブレーン出版  
(汐路本館 請求記号 378.6/95)

映画やドラマで取り上げられることも多い自閉症。この本は社会に戸惑い、生きにくさを感じながら青春時代を過ごした少女が、やがて自分自身を受け入れていくまでが書かれています。自閉症に関する自伝は外国の著作で有名なものもありますが、日本の学校社会でのリアルな描写が心に響きます。

#### 〈生活環境学科〉

「空間体験」 日本建築学会編 井上書院  
(汐路本館 請求記号 520/225)

魅力ある空間を持った世界各国の都市・建築物92例をカラー写真を多く使ってビジュアルに解説しています。各執筆者が実際に訪れた場所の空間体験もとに記述しているため臨場感があります。世界各国を旅した気分になる一方、実際に訪れて自分の五感で体験してみたいくなります。

#### 〈家政経済学科〉

「経済は感情で動く」  
マッテオ・モッテルリーニ著 泉典子訳 紀伊國屋書店  
(汐路本館 請求記号 331/976)

人間は必ずしも合理的な行動をするとは限らない、という行動経済学の入門書。同じだけ得をするのに行動するときと、しないときがある?……「?」と思った人は、この本を読んでみましょう。次々と出される質問に答えていくうちに、自分の行動が見えてきます。

### 文学部

#### 〈国際英語学科〉

「映画でわかるイギリス文化入門」  
板倉徹一郎 他著 松柏社  
(天白分館 請求記号 302/351)

外国の映画を見ていて「あれ?」と思うことはありませんか。その国では当たりまえのことが、他の国にとっては「異文化」になります。映画の裏側からイギリス文化を浮かび上がらせる本書。この本を読んでから映画を見ると、今までとは違った視点で見ることができそうです。



#### 〈児童教育学科 幼児保育学専攻〉

「絵本の深層心理学」 矢吹省司著 平凡社  
(天白分館 請求記号 019/55)

子どもは絵本のどこに惹かれるのか? という著者の疑問から出発した絵本の心理分析。子どもの好きな絵本は、おとなの心にも訴えるモチーフがある。おとなが面白いと感じなければ、子どもにも面白く読んであげることはできない。ということで、子どもの大好きな絵本26冊を大人の視点で分析しちやいました。有名なお話にこんな深層心理が隠されていた!? (ちょっと深読みしすぎかも?)

#### 〈児童教育学科 児童教育学専攻〉

「シドニー子育て記」 雁屋哲著 遊幻舎  
(天白分館 請求記号 371.5/92)

「美味しんぼ」の原作者として有名な著者ですが、子供たちを「日本の教育からひっぺがす」ためにオーストラリアに移住した筈が、シュタイナー教育と出会って「シュタイナー教育を受けさせる」という目的が変わりました。4人の子供たちが卒業するまで20年以上、そして現在もオーストラリアに住むことになった顛末を日本の教育への提言を混ぜながら綴っています。

### 短期大学部

#### 〈生活学科 生活創造デザイン専攻〉

「日本のファッション」 城一夫、渡辺直樹著 青幻舎  
(汐路本館 請求記号 383/1481)

一度開くとバラバラとページをめくり続けたいくなるような楽しい本。明治から平成まで、10年毎に区切られた当時のファッションが、精緻なイラストで描かれています。まだ生まれていなかった時代のレトロな世界から、ちょっと懐かしい数年前、そして現在まで。巻末には時代ごとの流行色や、ファッションの特徴もまとめられています。

#### 〈生活学科 生活情報専攻〉

「情報セキュリティ教科書」  
高田伸彦他著 東京電機大学出版局  
(汐路本館 請求記号 S0/657)

インターネットや電子メールは便利な反面、危険と隣り合わせです。この本では、認証技術・不正アクセスなど、項目ごとにセキュリティの仕組みや技術が解説されています。正しいセキュリティの知識を身につけ、情報を使いこなしましょう。

#### 〈生活学科 食生活専攻〉

「世界食文化図鑑」 スージー・ワード他著 東洋書林  
(汐路本館 請求記号 383/1488)

私たちが毎日食べているお米やパン、チョコレートなどの食材が、世界のどこで食べられるようになったのか? どのように伝わって行ったのか? たくさんのカラー写真で世界の食材や食生活を学べます。おいしそうな写真を見ているうちに、お腹がすいてしまいう。そんなときのために(?) 各国料理の簡単なレシピも載っています。

#### 〈栄養科〉

「好きになる生理学」 田中越郎著 講談社  
(汐路本館 請求記号 491/2150)

一番最初に書かれている「田中家の人々」。この人々が結構重要で、なんだか難しそうなおとなの「生理学」という学問を理解する手助けをしてくれます。特に弟(健次)くんになごみます。この本なら「好きになる」とまではいなくても、「生理学」に親しみを感ずるようになれそうです。

#### 〈保育学科〉

「世界に学ぼう! 子育て支援」 汐見稔幸編著 フレーベル館  
(汐路本館 請求記号 369.4/158)

北欧、アメリカ、カナダなど、各国で方法は違いますが子育て支援の政策や市民活動が展開されています。そんな世界の子育て支援を、可愛いマンガでわかりやすく事例紹介しています。日本の子育て支援を考えるきっかけに。



## 図書館利用セミナーのご案内



授業内図書館利用セミナー 講義風景

学術情報センターでは、図書館を活用するための利用セミナーを、教員からの要望に応じて実施しています。

申込みは授業単位・ゼミ単位のほか、希望者のみの少人数にも対応しています。講義内容は、本の探し方や図書館の使い方などの基礎的なものから、各種データベースを使った雑誌論文の探し方などの応用編まで、対象となる学生・大学院生に即したセミナーを開催しています。

講習を希望される方は図書館カウンターまでお申し込みください。

## 新規購読雑誌について

今年度より家政経済学科が新設されたことに伴い、経済に関する以下の雑誌2誌の汐路図書館での新規購読が決まりました。また天白図書館でも新たに1誌の雑誌を購読することになりました。学習や研究に、ぜひ活用してください。

雑誌名	購読巻号	所蔵	配架
「会計」	175巻1号～	汐路	2F 学術雑誌コーナー
「企業会計」	61巻1号～		
「理科の教育」	58巻1号～	天白	学術雑誌コーナー



## お知らせ

### ■コレクション展示のお知らせ

図書館に所蔵しているコレクションの展示を開始しました。現在は『オズボーン・コレクションにみる絵本の世界』の展示を行っています。展示内容は順次入れ替えていきますので、ご期待ください。

- 展示場所：汐路本館（中央館1階）・天白分館（図書館閲覧室）



### ■第2閲覧室の配置換えを行いました

汐路本館1階の第2閲覧室には小説などの比較的読みやすい図書を置いていますが、今までの並び方では蔵書目録（OPAC）で検索をしても書名で探すしかありませんでした。そこで利用しやすさを向上するために、昨年より変更された新しいラベル番号に従って図書の配置換えを行いました。これからは検索をした番号で簡単に探すことができるようになりましたので、ぜひ利用してください。（一部資料は元のラベルになっていますので、分野ごとに探してください）

### ■試験期間の日曜・祝日開館について

学術情報センターでは昨年度から試験期間に日曜・祝日も開館してサービスを行っています。7月の前期試験期間中には多くの学生が利用していました。1月の後期試験期間にも日曜・祝日開館をしますので、試験勉強やレポート作成に、ぜひ利用してください。

後期試験期間の日曜・祝日開館予定（図書館・コンピュータ演習室）

開館日	1月10日、11日、24日
開館時間	9:00～17:00

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第54号 発行日：平成21年10月1日

発行：名古屋女子大学学術情報センター  
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町3-40

● 図書館 TEL (052) 852-9768  
● システムサービス TEL (052) 852-1120